

Ph.D.

交流会

～博士課程大学院生・ポスドクが主体の集い～

佐々木貴教（東京工業大学大学院理工学研究科地球惑星科学専攻・PD）

---

2009年11月14日 若手研究者のキャリア形成研究会@東京大学柏キャンパス

# Ph.D.交流会とは？

---

- ❖ 目的：博士課程大学院生・ポスドクが中心となって自主的に企画・運営された交流会を通して、『キャリア形成の意識を高める』、『視野を広げる』などといった自己啓発につなげる
- ❖ 参加者：ゲスト1名＋博士課程大学院生・ポスドクおよび関心のある社会人で毎回30名程度。年齢・ポジション・専攻分野などの枠を越え、誰もがフラットな立場で自由に交流を行う
- ❖ 発起人：清末正晴（東大）・金子陽奈（東京医科歯科大）
- ❖ 協力：早稲田大学ポスドク・キャリアセンター（会場提供）

# Ph.D.交流会の主な流れ

---

- ❖ 3ヶ月に1回程度開催、土曜 or 日曜 の 17時～20時
- ❖ プログラム：
  - ・ 開場～ 料理や軽食を用意し、参加者同士で自由に交流する
  - ・ ゲストのお話 30分程度の講演を行ってもらう
  - ・ 議論 ゲストを交えて自由に議論・討論を行う
  - ・ ～終了 料理や軽食を用意し、参加者同士で自由に交流する
- ❖ 交流会終了後 まとめ記事や動画のアップロード・一般公開



# 各回のゲスト

---

- ❖ 第1回（2008/04/19）小飼弾氏「博士の足軽化について」
- ❖ 第2回（2008/06/29）高井正美氏「博士と企業をいかに繋ぐか」
- ❖ 第3回（2008/10/18）夏野剛氏「博士のサバイブ法」
- ❖ 第4回（2008/12/06）安田隆明氏「博士のキャリアメイク戦略」
- ❖ 第5回（2009/03/14）村上恭一氏「プレゼンテーション技法」

# 博士に対する主なメッセージ

---

- ❖ 博士たちよ、自活せよ、サバイブせよ、安売りするな
  - ・ 異端児としての自負と覚悟を持ち、自己責任で人生を選択しろ
- ❖ 現状打破のため「博士」という新しい風を欲しがっている企業は多い
  - ・ 企業側と博士側を繋ぐための場を作る必要
- ❖ 問題の定義の仕方、自らの売り込み方が下手
  - ・ 「博士（ポスドク）問題」→「博士（ポスドク）バリュー」

# 交流会のアーカイブ

---

- ❖ Ph.D.交流会ブログ：<http://blog.livedoor.jp/phdmeeting/>
- ❖ 参加者によるまとめ記事：個人ブログ等
- ❖ 動画：第3回交流会のみ（You Tube・ニコニコ動画）



# 良かった点・悪かった点

---

## ❖ 良かった点：

異なる分野の博士同士で交流・情報交換ができた  
多様なゲストによる「博士」についての多様な意見が得られた  
参加者各人のキャリアパスに対する意識が高まった

## ❖ 悪かった点：

「交流会」というよりは「セミナー」になってしまった  
交流会の人脈がその後の活動にほとんど活かせていない  
各回ごとに閉じてしまい、継続的な活動計画が立てられなかった

# 今後の展開；Ph.D.+α プログラム

---

- ❖ Ph.D.交流会での経験や人脈を活かし、何らかのアウトプットを行う
  - (1) 社会への還元（貢献）
  - (2) 若手研究者の誇れるアカデミック文化の創出
  - (3) 自己成長
- ❖ 発起人：清末正晴・佐々木貴教・中田行彦・K. M.
- ❖ 現状：5ヶ月ほど活動（試行錯誤）後、いったん休止中
- ❖ 将来：Ph.D.交流会を多分野博士間のポータルとして再展開する？  
異分野間の情報交換の場として（ハブ的に）利用できれば...